（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）

遂に來た嚴寒
氷点下十四度
今朝の氣渦
◇……水道の破裂各所に起り
當局修理に轉手古舞

平市に於ける今朝の氣溫は氷点下十四度となり實に三十年來の記錄となつた、これが爲市の水道は各所に破裂騒ぎが演じ水道課員は朝來修理に轉手古舞である

今日のこの寒さは樺太、北海道方面の猛吹雪に起因しており今朝平驛着午前六時五十六分の上り急行は午前中遂に姿を見せなかつた程で北奥地方の吹雪も記錄的なものであると

北奥一帶を猛吹雪と化した今朝來の氣候は別項の如く平地方に於てすら零下十度を超へる影響を蒙つたがこの猛威のため常磐線發常磐線廻りの急行列車は運行難から大遲延を來し平驛着臨時急行（午後七時二十二分）は二時二十分、普通急行（六時五十二分）は四時三十分遲れてホームに入り今冬に於ける最高の大遲延振りであつた

急行列車は
七時間の大遲延

平市及び郡下に於ける青年團の滿蒙開拓講習會は今九日午前十時から縣主催で平第一校講堂に開かれた

先づ松田縣此會教育主事補の開會に次いで國歌齊唱、遙拜、默禱、令旨並に御言葉の奉讀縣聯合青年團長の挨拶日本聯合青年團書記北原泰作氏の「滿蒙開拓と日本青年の使命」と題する講演並に縣職業課長渡邊一太郎氏の「福島縣の移民狀況」に關する報告あり終つて座談會や映畫會を催し午後四時閉會したが出席者百餘名あり頗る盛會であつた

滿蒙開拓の講習會開催
今日、第一校で

保健所落成式
二十五日擧行

既報—工費一萬五千餘圓を投じ舊職竣功した平保健所は國民保健向上のため青沼所長以下陣容を整へて華々しく開所したが縣では來る二十五日午前十時から知事代理保健課長臨席の上落成式を擧行する

情、酌量の餘地なし
毆打恐喝男起訴

既報—散々毆つた揚句金を出せと恐喝した好間村大字北好間日曹平礦業所運搬夫柴森琴吉(三五)は其後平檢事局で富澤檢事の取調べを受けてゐたが〝飲酒の上とはいひその行爲は强盜にも等しく初犯ではあるが全く酌量がない〟とて今九日「傷害並に恐喝罪」で起訴された、これが公判は來る十九日平區で中谷監督判事係りで開廷される

今年は木炭の饑饉
惡天候に禍され早くも品不足
山間部から出廻りなく値段も最高の取引

石城郡地方に於ける木炭は資材難と勞力不足から例年より三割方の減産で昨年十一月以來の市價は公定價格一杯の高値を示して來たが越年した昨今市内の卸値段は遂に小賣値段を上廻るといふ珍現象を呈し公定價格で頭を押へられてゐる限り營業すれば損となるばかりでなく市民一日の消費高千二百俵に對し市内在庫品は五千俵しかなく卸値段が引下げられない限り市民は木炭饑饉に呻吟する狀態にあるので市内業者は少なからず頭を惱ましてゐるが、この品不足の原因は連日の降雪により山間部からの積出し困難にあるのと山元に於ける貯藏も心細い結果から來てゐるので需要最盛期だけにこゝ當分値下りは見らない狀態にある

非常時に備へて
國民登錄開始
五十歳未滿の各種技術者を網羅

國民總動員法による國民登錄はいよ／＼本月より着手されるが平職業紹介所ではまづ法の適用者に對しての基本調査をなして二十日ころより登錄を開始する見込でこれが萬全を期するため目下全力をあげて準備を急いでゐるが登錄される業別は

◇鑛業　金屬鑛業、石炭礦業、石油礦業、その他の鑛業
◇工業　金屬工業、機械器具製造業、船舶運搬用具製造業、機械器具製造業、皮革、骨角、羽毛類製造、木竹草莖類製造、飲料品嗜好品製造、精線工業、化學製造
◇其他　土木建築、ガス電氣、水道、交通運輸業

で、なほ右技術所有者中適用されるものは十六歳以上五十歳までにしてその職に從事して三ケ月以上になるもの、また從事一ケ年以上になるもの、また從事一ケ年以上にして退職してから五年以内になるものである

就職兒童に反映した
この春の軍需工場志願か
非常時色
全員の七割を占む

平第一小學校では既報の如く今春高等科卒業の兒童につき昨秋來就職希望者を調査してゐたがこの程漸く纏つた、それによると百三十二名中四十名の中等學校入學志望者を除き軍需工場志願者約七割、商業一割程度、その他二割といつた具合で社會に巢立つ小さな子供らにも濃い時局色が反映してゐる

軍需工場からの求人申込みは相變らず目白押しで地元は勿論遠く東京其他各方面の工場から大量採用の斡旋依頼がありさしづめ今春の卒業兒童は爭奪戰の目標となつてゐる

放火の原因は
村長との不仲
川部の不祥事件眞想判明
犯人は歩兵少尉

既報—郡教育會に一大不祥事件を惹起せしめた川部村青年學校教諭蝶田嘉一—假名—に係る放火事件は引續き植田署で關係者の取調べを行つてゐるが同教諭は村の農業技術員も兼ねてをり常に同村長加茂元吉氏(六四)との間に面白からぬ問題が起つてゐたところから憂腦三日同村長宅物置に藥を積んでマッチで放火したものといわれ六日附免職となつた

魚價は益々高値
イワシは約三倍
お台所も非常時々代

事變が原因する高物價時代に取殘された形の魚價は昨年末期に至つてやうやく騰勢をたどり昭和十一年末を基數として魚價指數(小名濱魚市場調査)を見ると鮪二百バーセント、タラ二百同、鰯百八十同、鰯百二十同、めぬけ百五十同、鮫百五十同と未曾有の高價を示してゐる、これで昨年夏期まで深刻に叫ばれた生産費との價格差も解消し漁業も時局産業として登場し漁村は明るい春を迎へやうとしてゐる

献金と寄附　平市

平署の武道始め

卒業の武道始めは今九日午後零時半から同署道場で擧行、終つて紅白試合を催したが頗る意氣旺んであつた

献金　好間村日曹小田炭礦坑夫福田篤さん、武田胞吉さんの兩名は戰場に立つて國家に御奉公出來ないがせめてもの小遣錢を節約してと兩人で金五圓にしこの程國防費に献金した

泥土工檢擧

小名濱町定西居住日本水素工業土工吉田良吉(二六)は目下平署で窃盗罪により取調べられてゐる

同人は七日午後六時頃同町松の湯で入浴中の田中保君の外套、印絆天等衣類そつくり盜つ拂つて逃走中檢擧されたものである

神谷郷軍
武漢攻略
講演會開催

神谷村在郷軍人分會並に國防婦人會では今九日午後一時から同村出身海軍大尉鈴木韮氏を小學校講堂に迎へ上海、南京、武漢攻略の講演會を催した

激浪禍から
水揚高激減
淋れた小名濱港

舊臘中突如襲來した激浪のため避難入港の漁船數十隻が或は沈沒或は大破して近年稀に見る大慘害を蒙つた小名濱港はその後沈沒船の引揚げ、大破船の修理などによつて春の操業に大蹉跌を生じ元旦以來就航した漁船は極めて少ない關係から濱の淋れ方は豫想外でこれがため水揚高は激減するに至つたが九日現在による元旦以來の水揚高はイワシの三萬八千円の外平目鯛、タコ、石持、その他雜魚二萬円、計五萬八千圓前後で新正月旬日の水揚としては實に記錄的の減少振りである

遺家族と勇士慰問

湯本國婦の映畫會

湯本町國防婦人會では十一の兩日湯本座で映畫會を開くことになり目下會員が總出動で前賣券二十錢を買歩いてゐるが既に二千枚に達してゐる同會ではこの純益を町出身の前線將士とその遺家族慰問費に當てる筈

船火事

網を燒いて鎭火

小名濱港に碇泊してゐた同町三代義勝氏所有大勝丸第二號煙突附近から七日午後六時頃發火漁撈用の大網を燒き約二十分後鎭火したが一時は大小漁船が右往左往して大混亂を呈した

平市人事

回出生
△四丁目一九鈴木安吉氏長女義子さん
△大室字古堂三〇鈴木信光氏三男金伍君

回死亡
△古鍛冶町三三かつ代さん長女會澤ホツエさん（三）

今晩の部

JOHK

▼六、〇〇（子供の時間）「子供時局講話」「事變の將來と少年少女達の心構へ」仙臺聯隊區司令官陸軍歩兵大佐村井權治郎
▼後七、三〇　國民歌謡（指導）水野康孝（齋唱）BK唱歌隊男聲部「月の出島」佐藤惣之助作詞、内田元作曲
▼後七、四〇　講演「世界の大勢」法學博士神川彦松
▼後八、〇〇　管絃樂　大阪放送交響樂團
▼後八、三〇　謡曲「東北」　極間金太郎外

明日の部

▼前一〇、二〇　母の時間
▼後〇、〇五　ハーモニカ合奏
▼後六、〇〇　子供の時間　兒童劇（名古屋）
▼七、三〇　國民歌謡
▼後八、〇〇　ピアノ獨奏
▼後九、一〇　講談

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

メガネ専門店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい……
玉屋　平市本町二丁目

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

シモヤケ家傳藥
是までシモヤケは暖かくならねば治らぬものと諦めて居つたのが一日二、三回の御使用でクヅレたシモヤケも忘れたやうに完全に治ります。
現今の塗藥は異つた處法により根本から除去するものであります。シモヤケは寒さの爲になるもので塗藥では決して治るものではありません又クヅレタシモヤケに塗藥では塗布と同時に痛みを感じたりカユミを增したり致しますが此藥は無刺戟の中に心地良い處法により皮下の血行を良くし効きお子樣方にも喜ばれて如何にクヅレたシモヤケでも完全に治る事保證致します。
（定價三十五錢）
東京市丸井邦賣堂
福島　茨城　兩縣特約販賣
伊藤石炭店　平市一丁目　電話三四九番

冬！食慾の時！
季節向　なべやき　天ぷらそば
何卒御試食下さい、多少に拘らず迅速に配達致します
やぶそば　平市田町　電話四番

磐城セメント會社特約店
釜屋商店　磐城平市五丁目　電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は○の生命なり

內科　外科　一般
金成醫院
金成忠義　平市鎌田町　電話三五八番

一般　齒科
前小名濱小學校
齒學得業士
村上豐平

御會葬御禮
昭和十四年一月八日
小名濱町
小野晋平

……（155）……
愛情ミノ屋
石川延作
飛方

女　客　五

「お、姐さん、どうしたい」

と、暖簾の蔭の中から、ヌッと顔を出したのは、三十がらみの男、やゝ粗手な顔に眼鼻が、顔から顔に覗つてゐる、見るから一癖ありさうな男である。

「お邸、そこに居たのかい」

「あゝあの蔭で踊つてゐたよ」

「いやになつちまうね」

と、おしんは多少きまりのわるさうに、顔をポッとあかめたようであつたがすぐ舞台くずきの覗るやうな皮膚の色にかへながら言つた。

「姐方、あの男には紋繻がある」

と、おしんは顔で覗つた。

「姐さん、どうしてそんなに詳しくなつたんだね」

「詳けんか、何か知らないが、お世話にはならないよ」

「あれだ、今日は顔に顔がわるいね」

「あゝわるいよ」

「酔つたね」

その男は、鋭い眼差をして見せた。

「お顔はね、若い女と見れば直ぐ同情したがるが、何か目的があるのかい」

おしんは、紋繻流な冷笑を、けいれんした唇に、紋繻一裂しながら投げるやうな物いひ振りだつた。

「姐さん、お顔さんも、大分酔が

と、その男は紋繻に眼をかけると、顔にはさんだ火の用心とした紋繻をとりはづして、鼠ちの紋繻をとり出し

「紋繻の火を、貸して頂へませんか」

と、すぐ奥手に投げ出すやうに腰いてあつた紋繻に眼をつける。

「これかい」

おしんは、その男の顔に紋繻を押しやつて、袋をあふぐと白い煙が鼻から口から出て行く。

「姐御、一つ、ぐいとやとうだね」

一杯、盃を箱にふくと、その男はおしんに對して、酔き酔つた。

「何どんんがへるさ」

おしんは紋繻流である。その男は、お紋の方を横目に見やつしニヤリと笑つた。

「この姐さんを酔して上げちゃどうなんです」

と、その男

「フン」

まはつて來たやうだね」

その男の、氣味のわるい微笑が、顔から、顔にかけて、顔のやうに酔くのを見た。

「行ちやつていてにしいね」

と、彼女はツンとした。

お紋は、何だかすぐつたい氣持である。こんな男が、どんなに紋繻にした所で、自分の心が酔きさうなことのない事はわかり切つてゐる。それを紋繻がましく嘶弄される事が、顔ばらしくなつたのであつた。

「男に、どうしやうといふはちやアなつて、他男から見て、あんまり紋繻流てゐるから、くちを出したまでちやないか」

「はゝかりさまだよ」

「紋ったね」

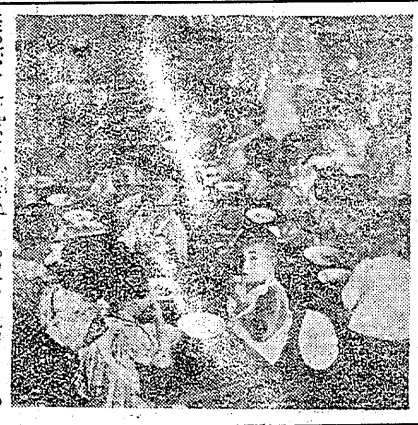
「紋そよ、あたりまへさ」

「紋繻だ」と、その男は酔ずくめで、紋繻らしい口のきゝ方をしたがさて、それからお紋の顔に、力をつくさうな表情りもなく、平紋繻として、暮れ行く空を眺めこみる。その顔ッきが顔に紋しい、お紋は、その男を紋に紋つたのである。

婦人と家庭

栄養工夫のそ食で 食費欄が助かる

赤字家計簿喜べ！



食の栄養的なものは、白の米飯なら、白米と麦平（または雑穀）とを混ぜて炊くなどすれば、人間は生命をおびやかされないでしょう。なぜならば人間は白米と麦平（または雑穀）とを混ぜて食べる時の白米と

B1 生命を保つに必要な栄養物質

ビタミン類

とを含んでいるからです。これでビタミンのA、B、C、D、Eの他に石灰や鉄、燐等の栄養分も摂取することが出来ます

米は玄米の胚芽をとるために大豆（黄粉）を多く

米は玄米の胚芽をとるために大豆（黄粉）を多く

米は玄米の胚芽をとるために大豆（黄粉）を多く